

暮らしのこと ゼミナール

第1回「想像してみる」を開催しました！

開催概要

日時 2019年 **10**月**11**日(金) 18:30~20:30

会場 おひさまパン工房

出席者 26人



【開催レポート】第1回「想像してみる」2019.10.11(金)

金曜日の夜、素敵なパン屋さん「おひさまパン工房」をお借りして、「はっかいち暮らしのことゼミナール(通称ことゼミ)」の第1回を開催しました。集まったのは20名を超えるさまざまな世代の皆さん。廿日市市在住や出身の方、広島市内からも参加いただきました。はじめに、近くの席の人と自己紹介をし合い和んだ雰囲気の中、前半の話題提供パートがはじまりました。お話いただいたのは、県立広島大学の手島洋先生と廿日市市福祉総務課の倉田忍さん。さまざまな視点からのグラフを眺めながら、これから日本のどうなっていくのかを教えてくださいました。

データから見てきたのは、生産年齢人口(15~65歳)が減少し、「支える人」が減ること、高齢者のひとり暮らしが多くなり、介護だけでなく生活課題(ゴミ捨てや家事など)が増大すること、ひきこもり状態は若い世代だけでなく全年齢層で見られることなどでした。続いて、廿日市市のデータを見ていきます。全国的な傾向と同様に生産年齢人口が減少していきます。その減り方やスピードは地区ごとで全く異なること、特に団地では一気に減少すること、若い世代は地域活動に参加していないこと、など現状などが見えてきました。休憩を挟んで後半はいよいよ「想像してみる」時間です。「2040年(20年後)あなたはどんな暮らしをしたいですか?」「そのために必要なことは?」をまずは各自で静かに真剣に考えました。そして3人一組になり、書いたことをシェアする時間です。笑いを交えながら、お互いの未来の話に聞き入っていました。第2回は「つくってみる」。今回想像した「必要なこと」で、今から私たちにできることはなにか、暮らしをちょっとだけ豊かにする小さな実践の計画を立てます。未来は「いま」の積み重ね。いまの小さな行動ひとつひとつが未来をつくっていきます。第2回からの参加も歓迎です。ぜひご参加ください！

